

1 整数の見方を復習しましょう。

1から20までの数を 2でわりきれぬ数と
2でわりきれぬ数に分けましょう。

整数を偶数と奇数に分けてみましょう。



2でわりきれぬ数・・・ ()

2でわりきれぬ数・・・ ()

2でわりきれぬ整数を ()

2でわりきれぬ整数を ()といます。

0は、()です。

2 偶数と奇数について考えましょう。

(1) 偶数を でかこみましょう。

【 0、 10、 23、 27、 28、 30、 33、 35、 38 】

(2) ()に言葉や数字を入れましょう。

860は()です。わけは、()で()からです。

奇数と奇数をたすと()になります。

偶数と偶数をたすと()になります。

1 整数の見方を復習しましょう。

1から20までの数を 2でわりきれぬ数と
2でわりきれぬ数に分けましよう。

整数を偶数と奇数に分けてましよう。



2でわりきれぬ数... (2、4、6、8、10、12、14、16、18、20)

2でわりきれぬ数... (1、3、5、7、9、11、13、15、17、19)

2でわりきれぬ整数を (偶 数)

2でわりきれぬ整数を (奇 数) といいましよう。

0は、(偶 数) です。

2 偶数と奇数について考えましよう。

(1) 偶数を でかこみましよう。

【 0、 10、 23、 27、 28、 30、 33、 35、 38 】

(2) () に言葉や数字を入れましよう。

860は(偶 数) です。わけは、(2)で(わりきれぬ) からです。

奇数と奇数をたすと(偶 数) になりましよう。

偶数と偶数をたすと(偶 数) になりましよう。